

平成19年度 事業計画のあらまし

ポイント

【完成事業】

- 九竜橋川排水機場の移設完成（梯川）
くりゅうばしがわはいすいきじょう かけはしがわ
- 手取川 柳谷上流砂防えん堤群の整備完成
てどりがわ やなぎたにじょうりゅうさぼう
- 手取川 尾添川第2砂防えん堤の整備完成
てどりがわ おぞがわ
- 石川海岸（小松工区）の事業推進（新型人工リーフ3基目完成）
いしかわかいがん こまつこうく しんがたじんこう
- 平成18年7月洪水 護岸等の災害復旧工事完成（手取川・梯川）
てどりがわ かけはしがわ
- 平成18年7月洪水 砂防えん堤等の災害復旧工事完成（手取川水系）
てどりがわすいけい
- 平成18年1月冬期風浪 海岸堤防の災害復旧工事完成（石川海岸）
かいがんでいぼう いしかわかいがん
- 川北町水辺の楽校プロジェクトの整備完成（東部上流拠点）（手取川）
かわきたまちみずべ がっこう とうぶじょうりゅうきよてん てどりがわ
- 一般国道8号 津幡北バイパスの全線開通
つばたきた

【継続事業等】

- 手取川 堤防の急流河川対策の促進（堤防の質的整備）
てどりがわ きゅうりゅうかせんたいさく
- 梯川 重点区間改修事業の促進（小松地区改修）
かけはしがわ
- 手取川 別当出合床固工群の整備促進
てどりがわ べっとうであいとこかためこうぐん
- 白山の大規模地すべりの滑動を抑制（甚之助谷地すべり対策事業）
はくざん だいきぼじ
- 河川堤防の浸透に対する詳細点検の推進（手取川・梯川）
てどりがわ かけはしがわ
- 一般国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路の整備推進
のうえつ ななおひみ
- 一般国道8号 加賀拡幅の整備推進
かが
- 一般国道8号 南郷拡幅の整備推進
なんごう
- 一般国道157号 武蔵地区歩道拡幅を推進
むさし
- 一般国道159号 津幡バイパスの整備推進
つばた
- 防災・震災対策の推進
- 一般国道8号 小松バイパス休憩施設に着手（蓮代寺地区）
こまつ れんだいじ
- バリアフリー対策の推進
- 無電柱化の推進

1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

2. 主要施策

◆ 広域的連携交流・活力ある地域づくり ◆◆

(道路事業)

【完成事業】

- 一般国道 8 号 ^{つばたきた} 津幡北バイパスの全線開通 ・・・資料 1
(予算額 約 15 億円)

^{つばたきた} 津幡北バイパスは、津幡町内の交通渋滞緩和を目的とした事業です。平成 19 年度は、刈安 ^{かりやす} 高架橋 (L=170m) の工事及び舗装工事を推進し、津幡町刈安 ^{かりやす} から同町倉見 ^{くらみ} 間の延長約 1.9km を暫定 2 車線で供用し、全線を供用する予定です。

【継続事業等】

- 一般国道 470 号 ^{のうえつ} 能越自動車道 ^{ななおひみ} 七尾氷見道路の整備推進 ・・・資料 2
(予算額 約 56 億円)

^{ななおひみ} 七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越 ^{のうえつ} 自動車道」の一部であり、石川県内では、七尾市八幡 ^{ななお やわた ななお} (七尾 IC (仮称)) から、富山県境に至る延長 13.6km で事業を推進しています。平成 19 年度は、用地買収を推進するとともに、七尾トンネル (L=1,760m) の着手を含むトンネル・改良・橋梁等の本線部工事に本格着手する予定です。

- 一般国道 8 号 ^{かが} 加賀拡幅の整備推進 ・・・資料 3
(予算額 約 26 億円)

^{かが} 加賀拡幅は、加賀市内における交通渋滞の緩和を目的とした事業です。平成 19 年度は、加賀市箱宮町 ^{はこみやまち} から松山町間 ^{まつやまち} の用地買収及び工事を推進します。

○ 一般国道 8 号 ^{なんごう} 南郷拡幅の整備推進 ・・・資料 4

(予算額 約 12 億円)

^{なんごう} 南郷拡幅は、^{かが} 加賀市南部における一般国道 8 号の渋滞緩和、及び北陸自動車道加賀インターチェンジと加賀地区に点在する温泉地等の観光アクセス向上を目的とする事業です。平成 19 年度は、^{けぶそ} 花房跨線橋(L=149m)及び^{ほそつぼ} 細坪跨道橋(L=25m)の工事を推進します。

○ 一般国道 157 号 ^{むさし} 武蔵地区歩道拡幅を推進 ・・・資料 5

(予算額 ^{こうりんぼう} 香林坊拡幅として約 13 億円)

^{むさし} 武蔵地区歩道拡幅は、市街地の回遊性を高める歩行空間の確保を目的とする歩道拡幅事業です。隣接する^{むさしがっじ} 武蔵ヶ辻第四地区市街地再開発事業と連携し整備を進めます。平成 19 年度は、武蔵地下 2 号線(クロスピア)の延伸工事と武蔵地下 3 号線の新設工事に着手します。

○ 一般国道 159 号 ^{つばた} 津幡バイパスの整備推進 ・・・資料 6

(予算額 約 8 億円)

^{つばた} 津幡バイパスは、^{かなざわ} 金沢市と^{のと} 能登地域との連携強化を目的とした事業です。平成 19 年度は、津幡北バイパスとの接続部に当たる^{のせ} 能瀬・^{ふなばし} 舟橋地区の円滑な交通確保のため、改良工事及び舟橋高架橋(L=230m)の橋梁工事を推進します。

- 平成18年7月洪水 護岸等の災害復旧工事完成【手取川・梯川】・資料11
(予算額 約2.4億円)

平成18年7月15日～19日にかけて発生した梅雨前線による洪水により、手取川及び梯川において被災を受けた合計16箇所の災害復旧工事を完成させます。

- 平成18年7月洪水 砂防えん堤等の災害復旧工事完成
【手取川水系牛首川上流】・・・資料12
(予算額 約0.4億円)

平成18年7月15日～19日にかけて発生した梅雨前線による降雨により、手取川水系牛首川上流にある直轄管理区間内で被災を受けた2箇所の砂防えん堤の災害復旧工事を完成させます。

- 平成18年1月冬期風浪 海岸堤防の災害復旧工事完成【石川海岸】・資料13
(予算額 約1億円)

平成18年1月23日の冬期風浪により被災を受けた小松市浜佐美地先の海岸堤防の災害復旧工事を完成させます。

【継続事業等】

- 手取川堤防の急流河川対策の促進【質的整備の推進】・・・資料14
(予算額 約2億円)

急流河川の洪水エネルギーに対して十分な安全性を確保するため、既設堤防を腹付け盛土による質的整備をするとともに、光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーの整備を平成18年度に引き続き能美市辰口地区において推進します。

- 梯川重点区間改修事業の促進【小松地区改修】・・・資料15
(予算額 約17億円)

流下能力が特に不足している前川合流点から鍋谷川合流点までの間を重点改修区間と位置づけ、下流部より順次引堤による堤防整備を行っており、平成18年度に引き続き、小松市中心市街地の小松大橋の架替等を推進します。

- 手取川 別当出合床固工群の整備促進・・・・・・・・・・（予算額 約2.6億円）

手取川水系牛首川において、別当谷、柳谷及び赤谷からの流出土砂をスムーズに流下させるとともに、溪岸侵食の防止を図り、かつ自然を生かした砂防施設とすることにより、登山者・登山道の安全確保、別当出合登山センターの安全性の向上及び自然豊かな溪流環境を創出させるため、別当出合床固工群を促進します。

- 白山の大規模地すべりの滑動を抑制【甚之助谷地すべり対策事業】・資料16
（予算額 約2.5億円）

現在でも活発な移動を観測している甚之助谷左岸ブロックの地すべりの活動を抑制するため、6号排水トンネルより集水ボーリングの整備を推進します。

- 河川堤防の浸透に対する詳細点検の推進【手取川・梯川】

平成14年7月に国土交通省がとりまとめた「河川堤防設計指針」に基づき、手取川・梯川の河川堤防について浸透に対する安全性の調査を平成21年度までに完了させる予定としており、平成18年度に引き続き調査を実施します。

（道路事業）

【継続事業等】

- 防災・震災対策の推進

（予算額 約3億円）

安心で安全な道路交通確保を目的として、「緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム」に基づく橋梁の耐震補強工事や、一般国道160号の越波対策工事（七尾市）などを推進します。

- 交通事故対策の推進

（予算額 約8億円）

道路の安全性を高め死傷事故を抑止することを目的に、一般国道157号堀内北交差点改良（野々市町）などにおいて、拡幅等の交通事故抑止対策を集中的に推進します。また、一般国道8号小松バイパス蓮代寺地区の休憩施設整備に着手します。

代表事例：一般国道157号堀内北交差点改良事業・・・・・・・・・・資料17
一般国道8号小松バイパス蓮代寺休憩施設・・・・・・・・・・資料18

◆ 美しさと文化の香りがする地域づくり ◆◆

(治水事業)

【完成事業】

- 川北町水辺の楽校プロジェクトの整備完成 (東部上流拠点)

【豊かな自然を学習の場として活用】・・・資料19

(予算額 約1億円)

河川空間を自然体験、環境学習や様々な人々が憩える場として活用するため、川北町と連携して実施している「水辺の楽校プロジェクト」の東部上流拠点(川北大橋上流右岸、川北町中島地区)の整備(高水敷整正等)を完成します。

(道路事業)

【継続事業等】

- バリアフリー対策の推進

(予算額 約10億円)

快適で誰もが安心して安全に利用できる歩行空間の確保を目的として、一般国道159号子浦自転車歩行者道(宝達志水町)などにおいて、歩道拡幅や段差解消などのバリアフリー対策を推進します。

- 無電柱化の推進

(予算額 約10億円)

都市景観や防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保を目的として、一般国道8号園町電線共同溝(小松市)などにおいて、電線類の地中化を推進します。

代表事例：一般国道8号 園町電線共同溝・・・資料20